Creative Enzymes®

スフィンゴモナス属由来のアルギン酸リアーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0805

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、ポリ（β-D-マンヌロン酸）リアーゼ（EC 4.2.2.3）は、次の化学反□を触媒する酵素です：β-D-マンヌロン酸残基を含む多糖類の脱水素的切断により、末端に4-デオキシ-α-L-エリスロ-ヘキス-4-エノピラノース基を持つオリゴ糖を生成します。この酵素はリアーゼのファミリーに属し、特に多糖類に作用する炭素-酸素リアーゼです。この酵素はフルクトースとマンノースの代謝に関与しています。
別名	アルギン酸リラーゼ I; アルギン酸リラーゼ; アルギナーゼ I; アルギナーゼ II; アルギナーゼ; ポリ (β-D-1,4-マンヌロン酸) リラーゼ; EC 4.2.2.3; 40591-57-9

製品情報

由来	スフィンゴモナス属
形態	液体
***EC**番号*	EC 4.2.2.3
***CAS**登□番号*	9024-15-1
分子量	~ 39.6kD
活性	~ 125 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.2および40°CのTris-HClバッファー中で、235 nmにおいて1分あたり1.0の吸光度の□加を生じるのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	4°C